「みんなでつくろう　元気いっぱい　あいさついっぱい　笑顔いっぱい　の学校」

佐野市立犬伏小学校

校長室だより

令和5年度　第26号
R6.3.15
舘野　道明

ご卒業おめでとうございます！！

卒業式　校長式辞

南校舎の窓から見える白木蓮は、つぼみを大きくふくらませ、春の訪れを感じる季節となりました。今日のこの素晴らしき良き日に、ご来賓として、佐野市から副市長　飯塚　久　様、佐野市教育委員会から教育総務課長　大竹幸子様、さらに学校評議員の皆様、本校PTA会長　石川和弘様をはじめとするPTA本部役員の皆様のご臨席を賜り、また、多くの保護者の皆さまのご参列をいただき、令和5年度佐野市立犬伏小学校の150回目の卒業式を挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

88名の卒業生の皆さん、先ほど皆さん一人一人に卒業証書を授与しました。校長として、今、感無量です。名前を呼ばれたときの「はいっ。」という返事、私を見つめるまなざしの力強さに、みなさんの成長をしっかりと感じることができました。

今、皆さんが手にしている卒業証書は小学校での学びを立派にやり遂げましたという証明書です。そして、家族の方々、地域の方々、皆さんが関わった全ての方々の思いや愛情がぎっしり詰まっています。証書を受け取ったときの「ありがとうございます。」には、そうした全ての方々への感謝の気持ちがこもっていましたね。

今ここから皆さんの顔を見ていると、この一年間のたくさんの活躍が思い出されます。

4月、入学したての一年生の教室で、ランドセルの片付け方やロッカーの使い方を優しく教える皆さんの姿がありました。はじめのうちは、全部やってあげていましたが、しばらくすると、自分でできるようになってほしいと、そばで見守っている姿に、私はとても感動したのを今でも覚えています。

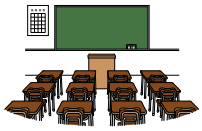
また、よりよい学校をつくろうと協力して取り組んだ委員会活動、「なかよし班」で黙々と真剣に取り組んだ清掃活動、進んで働く姿から、一人一人に最高学年としての自覚と責任感、そして、頼もしさを感じました。

創立150周年記念の行事でも、学校のリーダーとして役割を立派に果たしていました。

入場者制限をなくし、全校一斉開催とした運動会では、係活動はもちろん、競技にも全力で取り組みました。魂のこもった「犬伏ソーラン」、大接戦だった「紅白対抗リレー」、精一杯やりきった満足感・充実感に満ちた皆さんに、会場からは大きな拍手が送られました。

「なかよし集会」では、企画委員による準備と努力のおかげで、全校児童がとても楽しく盛り上がりました。特に、「犬伏 X」とその弟子たちの演技は下級生たちに大きなインパクトを与えました。

修学旅行では、鎌倉での班別活動、キッザニアでの職業体験を行いました。緑のバンダナを首に巻いた皆さんは、いつも素直で礼儀正しく行動していました。食べ放題の夕食バイキングでは、混雑を避けるために、自ら考えて食事の取り方を工夫している姿にも感心しました。



そして、日々の授業。先生の話をよく聞き、真剣な態度で学習に向かう姿は、いつも安心して見ていられました。

また、長縄大会では、2組と3組は3分間で243回跳び、優勝を分け合いました。1組も166回の新記録を達成し、4位になりました。クラスの絆を大いに深めましたね。そんな皆さんの姿を見た下級生たちは、「6年生はすごい。」「6年生みたいになりたい。」という　あこがれと尊敬の念を抱いていました。

また、部活動や　習字や作文・標語・絵画、ポスターなどのコンクールでの活躍もすばらしかったです。吹奏楽部の10年連続での県大会出場、14個のメダルと26枚の賞状を獲得した陸上部、3年連続でメダルに輝いた駅伝部。バスケットボールやタグラグビーでも仲間と助け合いながら、素晴らしい成績をあげていました。

皆さんとの思い出はまだまだ尽きません。
皆さんは、犬伏小の先輩たちが築いてきた素晴らしい伝統を守り、さらに立派な実績を積み上げました。まさに、本校の礎となっている「至誠」の精神がしっかりと受け継がれていることを　この一年間で確信することができました。校長として皆さんに心から感謝しています。ありがとう。誇りに思います。

「いのちが喜ぶ生き方」を

さて、皆さんも、今日で犬伏小学校を卒業します。6年間のうち、
半分の3年間は、感染症拡大のため、いろいろな制限の下、我慢の多い日々が続きました。そんな中、皆さんは、「だまって静かに行動できる力」そして、「人の気持ちを考えて行動できる力」を身に付けました。キッザニアや北中学校見学会で、そのことをほめていただきましたね。

4月からは、もう中学生です。中学校生活3年間は、人生においてとても大切な時期です。
犬伏小の卒業生として、自信と誇りと元気と勇気をもって、それぞれの中学校へと進んでください。
今は地震などの自然災害、感染症、様々な地域での紛争など、想定を超える出来事がたくさん起きています。その結果、「今までどおり」や「思ったとおり」にいかないことが増えてきています。

こんな時代だからこそ、たくましく生きる、楽しく生きていくために、いのちを大事にしてください。いのちを大事にするというのは、いのちをいただいていることに感謝し、いのちの力を使って、一生懸命　今を生きることです。いのちがあることも生きていることも当たり前ではありません。夢や目標に向かって自分を鍛え、自分自身の可能性を伸ばし、新しい友達、先輩、先生方との出会いを大切にして、「いのちの喜ぶ生き方」をしていってください。

もし、どうしても落ち込んだり、悩みを抱えたりしたときには、いつでも皆さんの母校、犬伏小にもどってきてください。きっと、元気が出ると思いますよ。
最後になりましたが、保護者の皆様。本日は、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。
この6年間、様々なご苦労もあったかと思いますが、今日の晴れ姿をご覧になり、その苦労も大きな喜びへと変わったことと思います。
本当にすばらしいお子様たちでした。
ご家族が一心に愛情を注ぎ　大切に育ててこられたお陰であると感じております。

これまで、本校の教育活動に　ご理解並びに多大なご協力を賜りましたことに、心より感謝し、改めて御礼申し上げます。どうぞこれからも、お子様にとって一番の理解者、応援団であってほしいと思います。

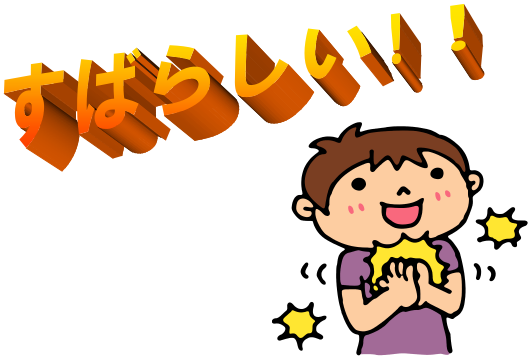
結びに、卒業生を温かく見守り、ご支援賜りましたご来賓の皆さま、並びに地域の皆さまに感謝申し上げますとともに、これからも引き続き、本校卒業生の中学校での活躍に　温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さんの未来が　喜びと感謝であふれることを　心よりお祈りして、式辞といたします。

令和6年3月15日

佐野市立犬伏小学校長　舘野　道明

★皆勤賞

【6年間皆勤賞】　4名

【1年間皆勤賞】　6年生のみ 20 名